My Favorite Place

弘前薬剤師会　加藤　傑

皆様こんにちは。弘前薬剤師会の加藤傑と申します。

1993 年、Ｊリーグの開幕とともに母校でサッカー部が新設され、私はすぐに入部しました。日向小次郎の雷獣シュートや翼くんのドライブシュートに憧れ、時間の許す限り練習に励みました。特にコーナーキックについては、思うように曲がるようになるまで時間がかかり、何度も何度もグラウンドを往復していたことを覚えています。

その後、薬剤師となってからは一度も母校に足を運ぶことはありませんでしたが、息子がサッカーに興味を持ち、私の母校を拠点とするスポーツ少年団に入団することになりました。最初は保護者として見守っていたのですが、ありがたいことにコーチとしてお声がけをいただき、審判の資格やコーチライセンスも取得。土日はほとんどサッカー漬けの日々を過ごすようになりました。

少年サッカーは８人制で、審判は基本的に１人です。最初のうちは作法を覚えるだけで精一杯でしたが、続けているうちに慣れ、次第にプレーを予測しながら審判ができるようになっていきました。

少年サッカーには「グリーンカード」があります。これは、ポジティブな行動に対してリスペクトの意を込めて提示されるもので、選手を認めることで次の良いプレーにつながることもあります。

息子が中学生になるタイミングでコーチは卒業しました。コーチングで悩んだこともありましたが、私にとって"favorite place"であるサッカーグラウンドでの３年間はかけがえのないものとなり、また元フランス代表監督ロジェ・ルメール氏の言葉「学ぶことをやめたら、教えることもやめなければならない」は今後の薬剤師人生においても忘れることのない"favorite words"となりました。